

ヒアリング(グループインタビュー)について

・海業に関連する地元事業者や団体を中心に、関連する事業者を1つのグループとして、ヒアリング(グループインタビュー)を行う。※9月中旬の実施が難しい事業者・団体については、個別にヒアリングを実施

(例)

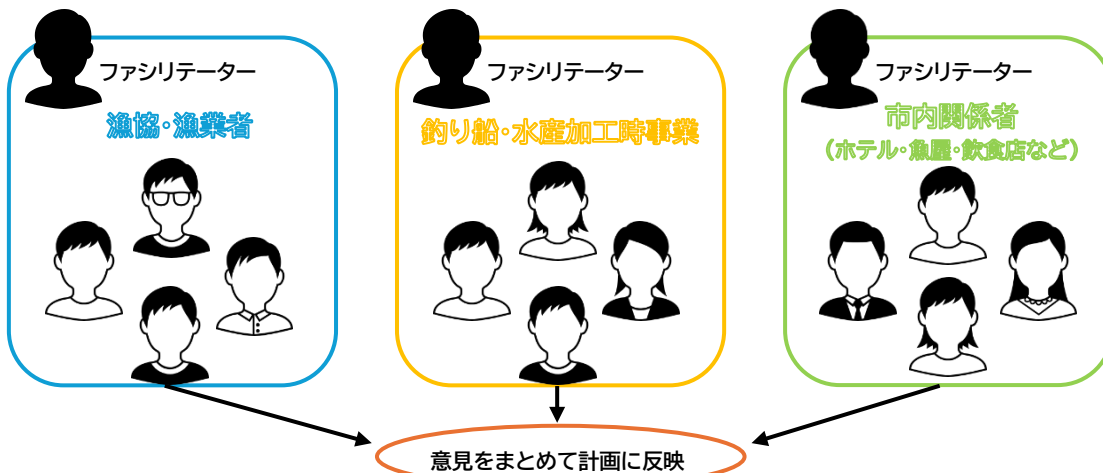


図 1 模式図イメージ

1. 現状について

- 普段の活動を通して、困っていること・改善したいこと(海業としてできることがあれば)
- 飯岡漁港周辺や地域の課題として感じていることがあれば
- 観光客や地元住民との関わりについて思っていること

2. 計画中の施設について

- 協議会を進めていく中で、決めていった計画中事業について感じていること(改善点)
- 協議会で提案した事業について(グランピング・浜焼き・市場・船釣り・いかだなど)
- 地元の漁師として、どのような施設なら「役立つ」「関わってみたい」と思いますか？
- 「こういう形なら関わりやすい」「これは避けたい」などの点はありますか？
- どんな漁港にしていきたいのか、イメージ像(例:人がたくさん来てほしい、釣りで有名な場所)
- 旭市民が困っていること→飯岡漁港で導入できると思うこと
- イメージ像に近づくために導入したらよいと思う施設・整備
- 外国人観光客が増えることへの意見(英語ができないから対応が難しい)
- どんなニーズに来てほしいのか(地元市民・その他地域・趣味として来る人)

3. テナントでの出店の可能性について

- 他の漁業者や家族、知人などが関心を持ちそうな仕組みはありますか？
- 参加する上で気になる点(費用・運営方法・人手など)はありますか？
- 協力したいと思う事業はあるか(その理由)
- 協力したいと思えない事業の理由